

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第 36 回 外的事象 PRA 分科会 議事録

日 時： 2024 年 11 月 6 日(水) 13:30～16:00

場 所： Microsoft Teams 会議 接続情報は後記参照

配布資料

- RK6SC 36-1 第 34 回外的事象 PRA 分科会議事録 (案)
- RK6SC 36-2-1 人事について
- RK6SC 36-2-2 外的事象 PRA 委員名簿 2024/4/22 版
- RK6SC 36-3-1 外部ハザード選定基準：RK008 202X“\_標準改定案について
- RK6SC 36-3-2 SSG3 改定前後の比較
- RK6SC 36-3-3 外部ハザード選定基準 転載許諾対比表
- RK6SC 36-3-4 外部ハザード選定基準：RK008 202X“\_標準改定案\_表 A2 更新
- RK6SC 36-3-5 外部ハザード選定基準 技術レポート改定原案に関するご意見募集  
【RKTC24-03】の結果について
- RK6SC 36-3-6 外部ハザードに対するリスク評価方法手引きの改定について
- RK6SC 36-3-7 技術レポートへのご意見への対応案
- RK6SC 36-3-8 TR02X-202X\_外部ハザードに対するリスク評価方法手引き改定案
  
- RK6SC 36-4-2-1 原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実  
施基準の評価適用事例集 技術レポート原案に頂いた意見への対応について
- RK6SC 36-4-2-2 リスク専門部会 (本報告) コメント対応表 (ハザード)
- RK6SC 36-4-2-2 リスク専門部会 (本報告) コメント対応表 (フラジリティ)
- RK6SC 36-4-3-1 技術レポート原案 (まえがき、目次、本文) r9
- RK6SC 36-4-3-3 地震 PRA 実施基準 SHA 技術レポート\_20xx 記載案
- RK6SC 36-4-3-4 地震 PRA 技術レポート原案 (フラジリティ) \_20XX 記載案

議題：

1. 定足数確認, 資料確認
2. 前回議事録の確認
3. 人事関連
4. 外部ハザードのリスク評価方法選定標準および手引の改定
5. 地震 PRA 標準の評価適用事例 改定
6. その他、次回日程

出席委員(17 名)： 糸井主査 (東大)、桐本幹事 (電中研)、足立委員 (大林組)、内  
山委員 (大成建設)、越智委員 (中部電)、片桐委員 (NEL)、栗  
田委員 (東電設計)、佐藤委員 (東芝 ESS)、砂川委員 (北海道  
電)、西田委員 (JAEA)、沼田委員 (関電)、廣川委員 (日立

GE)、前田委員(テブシス)、高橋委員候補(鹿島)、三輪委員(MHI)、山野委員(JAEA)、渡邊委員(東電HD)

欠席委員(1名): 中島委員(電中研)

出席常時参加者(2名): 根岸(原電エンジニアリング)、橋本(電中研)

欠席常時参加者(4名): 安達(テブシス)、倉本(NEL)、寺垣候補、梁田候補(規制庁)

参加者: 錦見(東北電力)、原口(MHI)(地震PRA作業会)、

### **(1) 定足数の確認**

会議に先立ち、委員18名中17名(内、委員候補1名)が出席しており、定足数を満たしていることが確認された。また、資料確認が行われた。

### **(2) 前回議事録の確認**

桐本幹事から、前回議事録の内容が説明され、承認された。

### **(3) 人事について**

桐本幹事から報告され、委員1名の登録、1名の退任、常時参加者2名の登録が承認された。また地震PRA作業会の人事が追加で報告され、委員1名の登録、1名の退任、常時参加者2名の登録、1名の登録解除が報告され、委員の登録について承認された。

### **(4) 外的ハザード評価方法選定標準 書面投票後の修正について**

片桐委員より、外的ハザード評価方法選定標準の改定案の書面投票後の修正対応について説明が行われた。また、手引の改定についても議論を行った。

今回の修正をもって、リスク専門部会の書面投票の回答とすることが了承された。

以下の議論があった。

- ・誤字チェックについてクロスチェックとして各委員でのチェックを片桐委員に集約することとした。

手引の改定(資料36-3-8)については、標準委員会及びリスク専門部会のコメントへの対応の説明が行われ、この資料を専門部会に上げていくことが了承された。以下の議論があった。

- ・2箇所、「外的ハザード」という表現がある。「外部ハザード」に修正する。

### **(5) 地震PRA標準原案 試し印刷後の誤字・脱字チェックについて**

地震PRA作業会根岸幹事より、地震PRA標準原案 試し印刷後の誤字・脱字チェックについて報告された。

今回の報告により、本対応内容でリスク専門部会および標準委員会まで報告することが了承された。

#### **(6) 地震 PRA 標準 評価適用事例の意見募集結果対応及び標準委員会での発行承認ステップのための専門部会承認について**

地震 PRA 作業会の錦見委員より、技術レポートである評価適用事例についての専門部会の本報告コメントや、標準委員会の中間報告コメントへの対応が説明され、主なコメントの説明をハザードについては高橋委員、フラジリティについては地震 PRA 作業会の原口委員、システム評価については地震 PRA 作業会の錦見委員から説明が行われた。

- ・能登半島地震への対応については、次回の分科会でも報告を行う。

今回の対応結果を 3 役での判断の元、リスク専門部会への報告に進むことが了承された。

#### **(7) その他、次回日程**

- ・断層変位 PRA の改訂版については次回、または次々回に報告が行われる予定。
- ・津波 PRA の実施材料が揃ってきたところであるため、津波 PRA 作業会の再開を検討している。ただし時間が経っているため、委員の再構成をして発足するつもりであるので、委員参加希望がある場合はご連絡ください。

次回は 2025/1/30 13:30～ Teams 会議で実施予定。

以上